

ご家族・ご同居の方もご覧になるようお願いいたします。

防災だより

第10号

平成31年1月13日発行 小田急金森泉自治会 自主防災隊

モデル班の訓練から、いろいろ分かりました！

昨年11月、2班と4班をモデルとして、大地震発生時の班内での初期行動訓練を行いました。「参加班員」「見学の他班長」「本部隊員」から広く感想や意見を頂き、今後の取組みに活かせる大変貴重な情報が得られました。（裏面の参加者アンケートもご覧下さい）
誠にありがとうございました。

（↓車いす避難に任意協力を得て、班長に報告） （↓全員移動集合し、訓練まとめの話）



分かったこと（ルールの重要ポイントや改善案など）

- 班長補佐が必要 → 一人では無理、前年など班長経験者や可能な人が必ず手助けを！
- 班内確認や要支援者宅へは二人一組を原則 → 確実性や支援要請対応などに配慮！
- 災害時の土地や建物への侵入事前合意の必要性 → 留守確認や救助などのため！
- 隣接班などへの協力 → 救助や消火などは緊急性や人手が必要！
- 班集合場所からの危険回避 → 状況に応じて全員集合待ちでなく一陣二陣などで移動！
さらに作業員（救助や消火など）と避難者の区別行動！
- 今回訓練は昼間で集合と確認に15分位 → 夜間や雨なら30~60分はかかりそう！
夜間停電にも対応できる備えの必要性！
- 発災時行動、避難場所の種類、避難時ルールなど、繰り返し周知などで啓発と浸透！

大地震は、みんなに等しく襲ってきます！

殆どの方は大地震を体験したことがなく、想像の域で個人ごとにきっとバラバラです。
基本的な共通ルールを知っておけば、混乱を減らし、適切な応用も期待できそうです。

初期行動などの訓練を、全体に広げて取組み
漠然とした不安を、確かな安心に変えましょう！

モデル2・4班の訓練参加者アンケート結果

設問 No.3・4・6の色付き部は、不正解

アンケート日

H30年11月11日

No			回答数	回答率%		
1	所属班	2班	17	---	0.0 25.0 50.0 75.0 100.0 %	
		4班	21	---		
2	世帯人数	2人以上	32	84.2		
		1人	5	13.2		
3	家で急に 大きな地震に 見舞われました あなたは？	身の安全を守る様にする	38	100.0		
		扉開放などで避難路確保	35	92.1		
		とにかく屋外に出る	11	28.9		
		揺れの様子をスマホ撮影	2	5.3		
4	揺れが一旦 収まりました あなたは？ ※)判断可能な 大人へは後で	火元確認・消火	33	86.8		
		「無事ですハンカチ」掲出	33	86.8		
		電気ブレーカー遮断	30	78.9		
		在宅人の安否確認	28	84.8		
		班の集合場所に行く	24	63.2		
		近所に声掛け	22	57.9		
		※) 外出家族の安否確認	19	57.6		
		落下物等の片付け	7	18.4		
		被害状況をSNSで発信	2	5.3		
飲食物買い出し	0	0.0				
5	班の集合場所 での行動	班長指示を よく理解	はい	38	100.0	
			いいえ	0	0.0	
		班長指示で うまく行動	はい	36	94.7	
			いいえ	0	0.0	
6	避難広場 避難施設 について	私達自治会の 避難広場は？	わさび田	34	89.5	
			小川高校	5	13.2	
			南4小	1	2.6	
			広い場所	0	0.0	
		私達自治会の 避難施設は？	わさび田	2	5.3	
			小川高校	34	89.5	
			南4小	0	0.0	
広い場所	0	0.0				
7	自由記述	内容は下表	18	47.4		

自由記述内容の趣旨などをまとめました

近隣関係	・日頃の近所付き合いで、互いに顔見知りになる関係の大切さ
	・要支援者情報をプライバシーを守りつつも知っておくことの重要性
	・班の実態認識（住民規模、初対面の人、ペットのいる人など）
訓練関係	・ルール習熟のため、定期的など繰返しの訓練実施
	・夜間など条件の違う想定での取組み必要
	・防災隊の大声での指示・指導要望（防災隊のスキルアップ）
発災時	・平日昼間への不安（多くは高齢者と専業主婦だけとなり、災害対応力が低い）
	・雨天や夜間など、昼間との違いへの不安